

ターゲットバードゴルフ

1 活動の目的

- ターゲットバードゴルフを通して、そのルールを理解し、仲間と楽しく活動する。

2 使用道具

(1) 種類

- ・クラブ
- ・羽根付きボール
- ・スタートマット
- ・ネットホール
- ・スコアカード
- ・バインダー
- ・筆記用具



(ネットホール)

(2) 貸出・返却方法について

【貸出】

- ① 活動時間になったら事務室に連絡します。
- ② 所員よりターゲットバードゴルフの準備物、活動場所等を確認します。
- ③ 借用した用具数等を「貸し出し簿」への記入をします。

【返却】

- ① 活動が終わったら、指定された場所に準備物を片付けます。
- ② 活動が終了したことを事務室に伝え、「貸し出し簿」へ記入します。その際、けが人や道具の破損等の有無について併せて報告をします。

3 活動の手順

- (1) あらかじめ決めた打順に従って1番目がスタートマットの上にボールをのせる。

(スタートマットは持ち歩き、2打目以降もマットにのせて打つ)

- (2) ネットホールめがけて、ボールをクラブで打つ。(打順に従い、チームのプレイヤーがそれぞれ1打目を打つ)

※ 打ち終わったプレイヤーは、他のプレイヤーのボールが当たらない場所に移動する。決して、これから打つプレイヤーの近くにはいないよう指示を出す。

～それぞれに打ち終わったら、ボールが止まった場所から2打目を打つ～

※ 2打目を打つ順番は、次の①～③の方法がある。

- ① あらかじめ決めた打順通り、順番を変えずに打っていく場合
- ② ネットホールから遠いボールのプレーヤーから打っていく場合
- ③ ネットホールから近いボールのプレーヤーから打っていく場合

(3) ネットホールの網の中 (A)、または、下の輪の中 (B) にホールインするまで、3打目、4打目・・・と打っていく。ホールインしたプレーヤーは、他のプレーヤーの妨げにならないように近くで待機する。

(4) チームのプレーヤーが全員ホールインしたところで、そのホールは終了。お互いにスコア (ホールインするまでの打数) を記入して、全員で次のホール移動する。

ホールインがA→打数がスコア、
B→打数+1がスコアとなる



※ 2番目のホールでの打順は、次の①～④までの方法がある。

- ① あらかじめ決めた打順通り、順番を変えずに打っていく場合
- ② 前のホールで打数が少ない順番に打っていく場合
- ③ 前のホールで打数が多い順番に打っていく場合
- ④ あらかじめ決めた打順の順番をもとにホールごとに打順を繰り上げてローテーションさせて打っていく場合

～この要領で全ポストを回り、合計打数の少なさを競う～

※ ターゲットバードゴルフでは、審判員をつける必要がなく、ゲームの判定はプレーヤー自身が行う。

※ 判定が難しい場合は、同伴プレーヤーの同意を求め判定する。

※ 審判の役がないことで参加者全員がプレーを楽しむことができる。それゆえに各プレーヤーはルールやエチケットを守ることが重要となる。

4 その他

- クラブを振り回したり、ボールを投げたりすると大けがにつながりますので、事前に必ず周囲の安全を確認してから行うようにしてください。
- 引率者・指導者は活動している人の安全確認・健康観察に努めてください。
- 気象条件やグラウンドコンディションにより、活動を中止してもらうことがあります。
- 10月以降にはイノシシ対策としてつどいの広場や多目的広場の周囲に電圧線をはります。危険ですので電圧線に触れることのないよう注意してください。
- ボールが道路に出たり、茂み等に入ったりした場合は、1打加算 (OB) にするなど、ルールを工夫しながら行ってください。